

「ひょうご安全の日のつどい」の実施

I 趣旨

震災20年を迎えるなか、震災を経験していない方が被災地で4割を超えるなど震災の一層の風化が懸念されている。さらに、国内外では大規模自然災害が頻発していることから、これまでも増して、震災の経験と教訓を地域や世代を越えて伝承する必要がある。

震災20年の節目となる平成27年1月17日は、「1.17は忘れない」をテーマに「ひょうご安全の日のつどい」を実施する。

II 事業内容

1 ひょうご安全の日のつどい

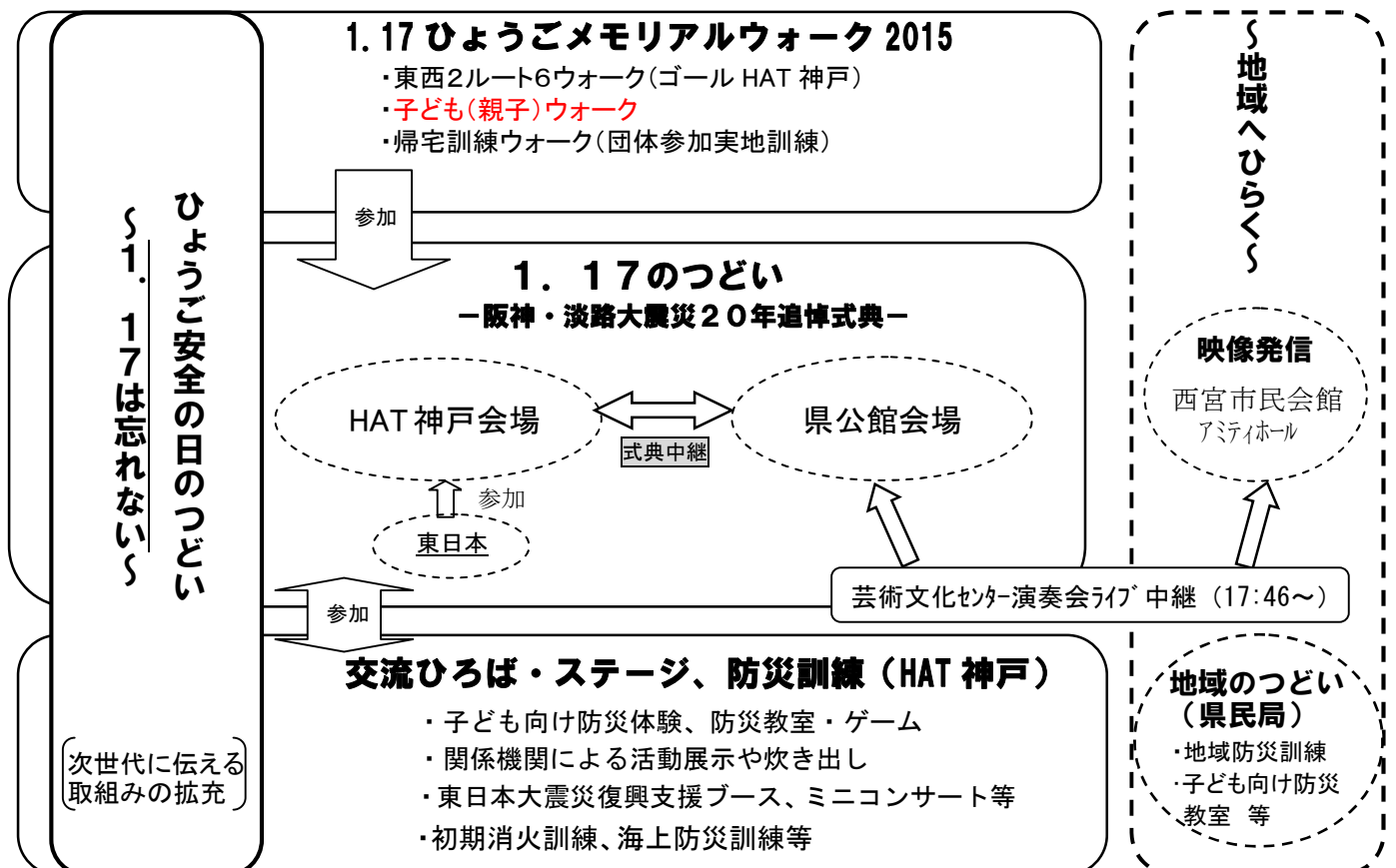
- (1) 実施主体：ひょうご安全の日推進県民会議
- (2) 開催日：平成27年1月17日（土）

- ① 1.17のつどい -阪神・淡路大震災20年追悼式典- [11:45~12:30]
- ② 1.17ひょうごメモリアルウォーク2015 [8:00~11:45]
- ③ 交流ひろば・ステージ [10:30~15:00]
- ④ 防災訓練 [13:00~15:00]

2 地域のつどい

[各県民局・県民センターで実施]

III 事業概要



1 ひょうご安全の日のつどい

(1) 1. 17のつどい ー阪神・淡路大震災20年追悼式典ー

震災20年の節目の日を迎え、阪神・淡路大震災の犠牲となられた方々への哀悼の誠を捧げるとともに、安全・安心な社会づくりに向けて歩む決意について、国内外や次世代に強く発信する「1. 17のつどい ー阪神・淡路大震災20年追悼式典ー」を開催する。

【実施方針】

- 式典は、これまでの追悼行事の経緯も踏まえ、遺族を招待し、厳かに犠牲者の御霊を追悼するとともに、次代を担う子どもたちからのメッセージを発信するなど、1.17を忘れず、未来へ伝えていく内容を盛り込む。
- 遺族、政府関係者、復旧復興で支援して頂いた方等、多くの方々を招くことができるよう県公館と神戸東部新都心（HAT神戸）の2会場で開催し、両会場を映像でつなぐなど一体的な式典とする。

① 式典内容

ア 名称 1. 17のつどい ー阪神・淡路大震災20年追悼式典ー

例年は、ひょうご安全の日のつどいに一般参加者も広く募るため、HAT神戸でメモリアルウォークと一体的に追悼行事「1. 17つどい」を実施してきた。
震災20年目にあたる今年度は5年ぶりに遺族を招待した追悼行事とし、「追悼式典」の名称とする。

イ 場所 兵庫県公館、HAT神戸（人と防災未来センター慰霊のモニュメント前）

ウ 時間 11:45～12:30 予定（式典献花 12:30～13:00）

エ 次第 ※矢印は、映像発信の方向を示す。

内 容	県公館	HAT神戸
(スライドショー等の映像)	(スライドショー等の映像)	(スライドショー等の映像)
献奏曲 「G線上のアリア」	佐渡裕指揮・芸術監督と芸術文化センター管弦楽団	
追悼の灯り	次世代を担う若者(新成人)	次世代を担う若者(新成人)
開会の辞	兵庫県議会議長	
国歌斉唱	全員	
黙祷 (12:00)	全員	カリオンの鐘 (なぎさ小学校児童等)
式辞	兵庫県知事	
ご来賓のことば	政府代表	
ご遺族代表のことば	ご遺族代表	
献唱曲① 「しあわせ運べるように」	佐渡裕指揮・芸術監督と芸術文化センター管弦楽団、桂木小学校	なぎさ小学校 等 東日本小学生も参加
県民のことば	子ども達からのメッセージ	
1.17 ひょうご安全の日宣言	河田恵昭 県民会議企画委員長	
献唱曲② 「アヴェ・ヴェルム・コルプス」	佐渡裕指揮・芸術監督と芸術文化センター管弦楽団、神戸市混声合唱団	
献花	全員	
閉式		

オ 追悼の灯り

式典会場（公館、HAT神戸）には、慰霊や未来への期待を込めた「追悼の灯り」を次世代を担う若者等が採火し、慰霊のシンボルとして献灯する。

【慰霊モニュメントの灯り】

人と防災未来センター慰霊モニュメント前で採火した灯を、公館で点灯し、2会場を灯りにつなぐ。



a 採火・点灯

慰霊モニュメント前において、次世代を担う若者（新成人）が、震災の経験と教訓を世代を越えて「伝える」ことを誓い採火する。

2会場の式典において、新成人が「追悼の灯り」を献灯する。

カ 祭壇

震災 20 年の節目を迎える追悼式典となることから、公館会場にも祭壇を設け、犠牲者の方々への追悼の誠を捧げる。

a 祭壇デザイン等

祭壇は花卉により装飾し、デザインは簡素なものとする。

ひょうご安全の日のつどいのテーマ「1.17は忘れない」のイメージを表現する。

b 演出等

祭壇に「追悼の灯り」を設け、慰霊の気持ちを込めて灯すとともに、両端に大型スクリーンを設置し、灯りと映像を組み合わせた視覚効果をねらう。

キ 参加者

a 招待者

遺族、政府関係者等、政党代表、県選出国會議員、在関西総領事、震災復興関連有識者・支援者、県議會議員、県内市町長・議會議長、東日本大震災関係者、県民會議構成団体、その他県関係団体等

（参加見込み）

- ・公館 : 約 450 名
- ・HAT神戸 : 約 200 名

b 一般参加者

（参加見込み）

- ・HAT神戸 : 約 2,500 名

② 献花・記帳所（1月17日）

ア 記帳所

- ・神戸市立神戸生田中学校（10：00～17：00）
- ・兵庫県公館（17：00～19：00）
- ・人と防災未来センター（10：00～17：00）

イ 献花所

- ・兵庫県公館（17：00～19：00）
- ・人と防災未来センター（式典終了後～17：00）

③ 兵庫芸術文化センター管弦楽団第75回定期演奏会ライブ中継（1月17日）

芸術文化センター管弦楽団「第75回定期演奏会」（於：同センター、17:46～）の映像を、県公館や西宮市民会館で上映し、より多くの県民の方々に犠牲者の方々への追悼や震災をおもい起こすためのメッセージとして発信する。

ア 曲目 : マーラー交響曲第2番「復活」

イ 出演者 : 指揮・芸術監督 佐渡 裕
兵庫芸術文化センター管弦楽団ほか

ウ 演奏会 : 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール（17：46～）

エ 演奏会ライブ中継

: 県公館大会議室、西宮市民会館アミティホール

（17：46～（生中継））

－ 特別企画「東日本大震災“絆”の発信」－

① 東日本大震災 被災地とのつながり

- ・ ウォーク参加者に、東日本大震災被災地の福祉作業所で製作した参加証(缶バッジ)を配布し、東北の復興支援を継続していく。

② 東日本大震災 被災地への参加の呼びかけ

- ・ 被災地関係自治体、被災地からの県内避難者に参加を呼びかける。

③ 東日本大震災展示ブースの開設（交流ひろば）

ア 東日本大震災 被災地での支援活動報告、県内避難者支援

- ・ 南三陸町ほか東日本大震災被災地へ派遣された派遣職員による復興状況報告および観光PRのブースを設置する。
- ・ 県内避難者の交流・相談を目的としたブースを設置する。
- ・ 東日本で支援活動を行ったNPOなどの支援団体や関西広域連合の活動内容及び東日本被災地の復興状況をパネル展示する。

イ 東北物品販売・観光PR

- ・ NPO、県内避難者グループ等による東北物産品の販売コーナーを設置する。
- ・ 東北三県の観光マスコットキャラクター(むすび丸(宮城県)、キビタン(福島県)、そばっち(岩手県))による観光PRを行うコーナーを設置する。

ウ 東日本大震災 被災地へのメッセージの発信

- ・ 来場者からのメッセージを「シンサイミライノハナ」により発信する。
- ・ 造形作家・新宮晋氏企画のアートプロジェクト「元気のぼり」を設置し、東日本大震災被災地を励ますメッセージを発信する。

エ 津波被害対策に関する情報発信

- ・ 南海トラフ地震・津波を想定したハザードマップ等の展示
- ・ 創設10年を迎えた1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」の受賞校等の取組紹介(東日本被災地の学校等の活動展示)

④ 東日本大震災“絆”ステージ

ア 東日本大震災復興と絆を考えるトーク&ライブ

「阪神淡路」からの20年、「東日本」からの4年」とし、兵庫より東日本へ復興に向けてのトークやライブを実施する。

イ 東日本大震災支援ゆるキャラ共演

東北三県のマスコットキャラクターと「はばタン」との共演による東日本復興ステージを実施する。

(2) 1. 17 ひょうごメモリアルウォーク 2015

阪神・淡路大震災から復興した街並みや震災モニュメントを巡り、風化しがちな防災意識を高めるとともに、東日本大震災においても明らかになった交通機関の途絶を想定し、来るべき災害に備えるため、緊急時の避難路、救援路として整備された山手幹線等を歩く「1. 17ひょうごメモリアルウォーク 2015」を実施する。

- 【実施方針】**
- 震災20年の節目にあたり、震災の経験や教訓をさらに「未来へつなぐ」ため、西5.kmコースにおいて震災後に生まれた子どもとその親を対象とした、子ども(親子)ウォークの新設を行う。
 - 今回は土曜日開催であり、未来に向けて震災の経験の継承を図るため、若者のさらなる参加を促すこととし、学校等に対する参加を呼びかける。
 - 休憩所(屋内)に、防災力強化県民運動ポスターコンクール優秀作品を展示する。

ア 実施時間

8 : 0 0 ~ 1 1 : 4 5

イ コース

a 一般ウォーク

東ルート3コース (15km・10km・2km)

西ルート3コース (15km・10km・5km)

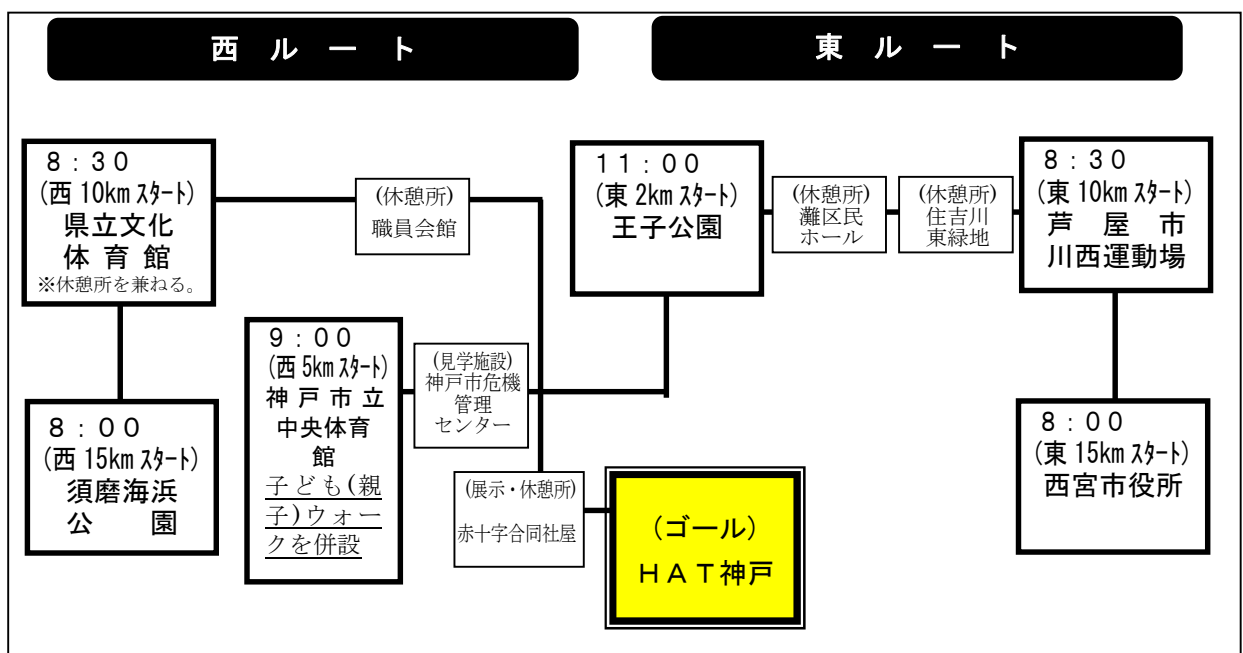
b 子ども(親子)ウォーク

西ルート1コース (5kmに併設)

子どもたちが楽しみながら震災や防災を学べるよう、西5kmコースに新設。

c 帰宅訓練ウォーク

事業所、学校等の団体が、災害時の交通機関の途絶による徒歩帰宅を想定して、それぞれの事業所や学校等からゴールのHAT神戸を目指す。途中「災害時帰宅支援ステーション」への立ち寄りや、災害時伝言ダイヤルを使って、家族・事業所・学校への安否情報の連絡などの訓練を実施する。



(3) 交流ひろば・ステージ

【実施方針】

- 交流ひろばでは、「伝える」「備える」「活かす」に区分し、参加者に分かりやすい展示配列とするとともに、防災関連企業の参画による防災グッズ等の県民への配布を行う。
 - ・同様の事業内容を行う機関や企業の連携展示
 - ・企業による防災グッズの展示説明、廉価販売
- 震災 20 年の節目にあたり、次代を担う子ども達に震災の経験・教訓を伝え、防災・減災を体験してもらうため、新たに「子ども防災ひろば」を開設。
- 交流ステージでは、親子での協力が必要なアトラクションや若者による発表を増やすことにより、世代間で「伝える」ステージを展開する。
 - ・親子で参加する防災クイズ、体験等の増設
 - ・若者による防災講習の実施

① 交流ひろば

関係機関やNPO、ボランティアグループ等による活動展示や炊き出し、子供たちを対象にした防災体験、防災教室など、県民の防災意識の向上や交流、次世代への教訓の伝承を図る場とする。

時 間	実 施 内 容
10:30 ↓ 15:00 ※炊き出しは 13:00開始 (11:40～ 13:00 式典の間 中断)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 場 所 なぎさ公園 ■ 実施内容（予定） 《展示及び防災体験等》 <ul style="list-style-type: none"> ○ 兵庫県住宅再建共済制度のPR（兵庫県住宅再建共済基金） ○ 防災、震災復興等の活動状況の展示（国等防災関係機関） ○ 防災用品等の展示、備蓄物資（非常用食糧等）の提供（防災関係企業等） ○ 建物耐震化の体験学習コーナー（県建築士会） ○ 起震車による地震体験（防災関係企業等） ○ 防災力強化県民運動ポスターコンクール作品展等（人と防災未来センター） 《東日本大震災被災地支援》 <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援活動内容報告 ○ 東日本の名産等物産の展示、販売 ○ 東日本観光地の案内パンフレット等の出展、被災3県と兵庫県のマスコットキャラクターの共演など東日本大震災被災地の継続的な支援を図る場を設置 《炊き出し》 <ul style="list-style-type: none"> ○ 被災者グループ、自衛隊等による炊き出し

※展示構成：阪神・淡路大震災20年事業のテーマである「伝える」「備える」「活かす」のゾーンに区分する等、参加者に見やすく理解しやすい展示・体験ブースの配置とする。

② 子ども防災ひろば

震災 20 年の節目にあたり、次代を担う子ども達に震災の経験・教訓を伝え、防災・減災を体験してもらうため、新たに「子ども防災ひろば」を開設。阪神・淡路大震災をきっかけに始まった、NPO、ボランティア団体等による子どもを対象にした防災体験、防災学習など、次世代への教訓の伝承を図る場とする。

時 間	実 施 内 容
10:30 ↓ 15:00 (11:40~ 13:00 式典の間 中断)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 場 所 JICA関西敷地 (なぎさ公園北側) ■ 実施内容 (予定) 《防災体験・実演等》 <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>子どもを対象とした防災体験プログラム：イザ！カエルキャラバン (NPO法人プラス・アーツ)</u> ○ <u>みんな集まれQQ体操 (ラジオ関西)</u> ○ <u>防災シミュレーションゲーム「クロスロード」体験 (神戸クロスロード研究会)</u> ○ <u>東北支援「命の一本桜」プロジェクト (アトリエ太陽の子)</u> ○ 防災楽習迷路・防災腹話術 (ひまわりの夢企画) ○ 防災啓発コーナー (人と防災未来センター) 《防災教育・防災学習》 <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>防災授業・ワークショップ (県立舞子高校生、神戸学院大学生)</u> 《防災劇の公演》 (会場：JICA関西 2 階特設会場) <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>防災啓発人形劇「3匹のこぶた危機一発！」 (防災ジャパングプロジェクト)</u>

※スタンプラリー：子どもウォーク、交流ひろばと連携したスタンプラリーを実施し、子どもたちの積極的な参加を促す。

③ 交流ステージ —震災メモリアルステージ—

震災 20 年を振り返るミニコンサートやトークセッションや被災者グループ、防災を学ぶ学生等による防災ゲーム・クイズによる発表等を実施し、県民の防災意識の向上や交流、次世代への教訓の伝承を図る場とする。

時 間	実 施 内 容
10:30 ↓ 15:00 (予 定) (11:40~ 13:00 式典の間 中断)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 場 所 なぎさ公園内 特設ステージ ■ 実施内容 ○ <u>追悼ステージ</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>森 祐理 (福音歌手)：震災で弟を亡くした被災体験を伝えるため追悼曲を歌い続けている。</u> ○ <u>防災スペシャルトーク (東日本支援活動・防災啓発)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>藤原 紀香 (女優)</u> ○ <u>東日本被災地支援ジャズ共演</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>大野 俊三 (ニューヨーク在住トランペット奏者、米国グラミー賞受賞)</u> ・ <u>県立高砂高校ジャズバンド部 (映画「スウィングガールズ」モデル校)</u> ○ <u>東日本被災地支援 絆ステージ</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>高校生による津軽三味線演奏：県立長田高校 大槻祐希未さん</u> ○ <u>東北 3 県ゆるキャラ共演&ダンス</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>はばタン・東日本大震災被災地三県キャラクター</u> ・ <u>宮城県七ヶ浜国際村ミュージカルグループ「NaNa5931」</u> ○ <u>被災者グループによるコーラス (いきいきネットワーク)</u> ○ <u>来場者参加の防災クイズ (県立舞子高校環境防災科)</u>

会場レイアウト (HAT神戸なぎさ公園周辺)



(4) 防災訓練

ひょうご安全の日の趣旨を踏まえ、メモリアルウォークやつどい参加者などを対象に、体験型防災訓練等を実施することで、県民の災害対応能力の向上を図る。

【実施方針】

多くの県民の参加を得て災害の疑似体験や実戦的な防災訓練を実施することにより、県民が日々の生活の中で防災に取り組む「災害文化の継承」を図る。

- 次世代を担う若者の参加の促進
- 実戦的な疑似体験
- 競技性を持たすなど、すべての年代の人々が興味を持ちながら真剣に参加できる防災訓練の実施

時 間	訓 練 内 容
13:00 ↓ 15:00	<ul style="list-style-type: none">■ 場 所 なぎさ公園周辺■ 実施内容（予定） <p>《参加型訓練・展示等》</p> <ul style="list-style-type: none">○ 耐煙訓練○ 負傷者応急措置訓練○ 心肺蘇生法訓練○ 障害物除去訓練○ 起震車による地震体験○ 特殊車両等の展示○ こども防災体験コーナー○ 大声コンテスト○ ロープワーク訓練○ 初期消火訓練(水消火器による的当てコンテスト) <p>《デモンストレーション型訓練》</p> <ul style="list-style-type: none">○ 津波災害対応海上防災訓練（巡視艇、消防艇等）

【 荒天時等の対応（ひょうご安全の日のつどい（屋外行事関係）） 】

[荒 天 時]

- ① 神戸市、西宮市、芦屋市のいずれかの市において、特別警報が発令された場合には屋外の全ての行事を中止する。
- ② 神戸市、西宮市、芦屋市のいずれかの市において、暴風、大雨、大雪警報が発令された場合には、「1.17 メモリアルウォーク」及び屋外での「1.17 のつどい」、「防災訓練」、「交流ひろば」などの屋外行事は全て中止とし、その他の警報、注意報等が発令された場合には主催者により中止判断を検討する。
- ③ 上記②の場合の「1.17 のつどい」は、人と防災未来センター西館1階ホールで実施する。

※ 事業を中止する場合の周知方法

- ・ ラジオ関西による放送（午前5時59分及び午前7時59分に放送）
- ・ 「ひょうご安全の日」のホームページに掲載（アドレス <http://www.19950117hyogo.jp>）

[雨 天 時]

雨天時(荒天時以外)は、原則として予定どおり行事

2 地域のつどい

(1) 趣旨

県内各地域において、地域の特性を踏まえ、各県民局等を中心に安全・安心な社会づくりを期して「ひょうご安全の日 地域のつどい」を実施する。

特に今回は、震災20年の節目の年で、土曜日開催であることを踏まえ、次代を担う子ども達に「伝える」内容で実施する。

(2) 実施場所

県内各地域（各県民局・県民センター単位で実施）

(3) 実施日

平成27年1月17日（土）を中心に実施

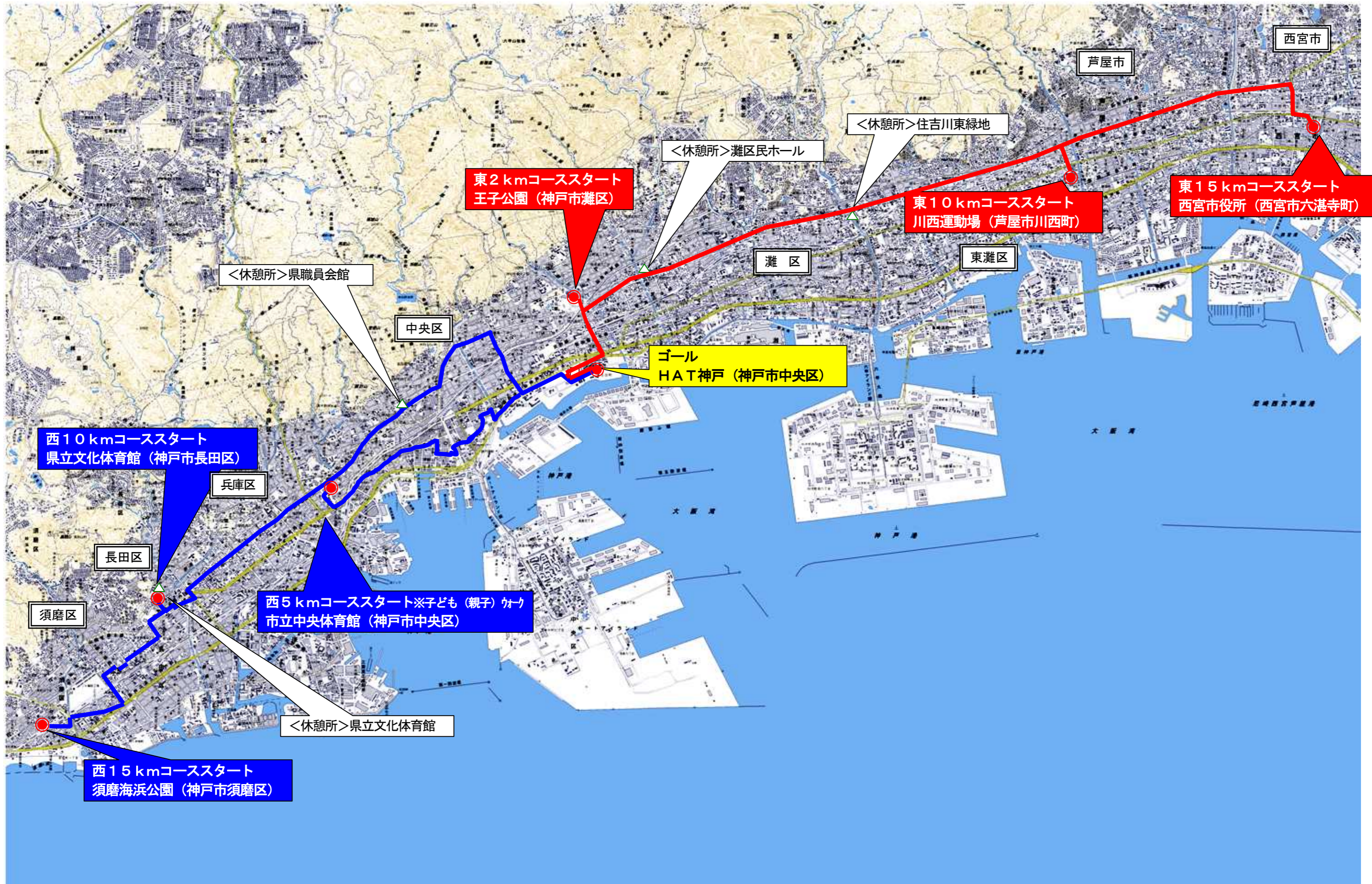
(4) 実施内容

- ・子ども、親子等の参加を踏まえた防災訓練・防災学習
- ・1. 17ひょうご安全の日宣言の発信
- ・住宅再建共済制度の啓発
- ・「伝える」阪神・淡路大震災の教訓パネル展示
- ・地域防災訓練の実施
- ・防災力強化県民運動の啓発 等

[実施予定]

地域	日程	場所
阪神南	1月16日	尼崎市
阪神北	1月9日	宝塚市
	1月16日	
東播磨	1月17日	明石市
	1月23日	
北播磨	1月17日	三木市
中播磨	1月17日	姫路市
	1月25日	市川町
西播磨	1月17日	太子町
但馬	1月17日	豊岡市
丹波	1月16日	丹波市
	1月17日	篠山市
淡路	1月17日	淡路市
	1月13日～16日	

ひょうごメモリアルウォーク2015 コース図



HAT神戸会場図

